

福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/2>

参考値

(データ集約：2/15)

採取場所	2号機原子炉建屋上部① (ブローアウトパネル中央西向上)		2号機原子炉建屋上部② (ブローアウトパネル中央西向下)		2号機原子炉建屋上部③ (ブローアウトパネル中央西向上)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成25年2月9日 9時30分～11時30分		平成25年2月9日 9時30分～11時30分		平成25年2月9日 12時10分～14時10分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	2. 2E-05	0.01	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	3. 6E-05	0.01	ND	-	ND	-	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約5E-6Bq/cm³、Cs-137が約6E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約3E-6Bq/cm³、Cs-137が約4E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/2>

参考値

(データ集約：2/15)

採取場所	2号機原子炉建屋上部④ (ブローアウトパネル中央西向下)						②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
試料採取日時	平成25年2月9日 12時10分～14時10分						
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03
Cs-134 (約2年)	3.7E-06	0.00					2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-					3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約5E-6Bq/cm³、Cs-137が約6E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-6Bq/cm³、Cs-137が約4E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。